

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	公園施設保全改修事業			事業番号	36-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	みどり公園課	城所 昌男	

計 画 (P l a n)					
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	36	みんなで楽しめる公園づくりの推進	
予算事業名	有料公園施設(スポーツ施設)整備事業費				
	地域公園施備事業費				
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務	☐ 法定受託事務	(選択してください)→	法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	～		終了年度	
関連法令等	都市公園法、社会資本整備総合交付金要綱				
国・県の計画等	社会資本整備総合交付金			計画期間	平成27年度～令和元年度
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	市内の都市公園は、昭和40年代から主に開発行為や区画整理事業などにより整備されてきており、現在148公園となっています。そのうち約半数の公園は開設から30年以上が経過し、公園施設の老朽化が進んでいます。				
目 的 (何をどうしたいのか)	公園施設の計画的な長寿命化対策を進め、維持管理予算の縮減や平準化を図り、公園施設の安全性確保と機能保全を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	・公園施設長寿命化計画(令和2～6年度)に基づき、公園遊具施設の更新や老朽化した公園トイレの改修を着実に進めていきます。 ・令和3年度に、公園灯をLED照明へ更新します。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	有料公園施設長寿命化	—	東富岡公園トイレ改修		
	一般公園施設長寿命化	下落合公園フェンス改修	ふじやま公園トイレ改修 俵久保第二公園フェンス		
	公園遊具更新	3公園4遊具	5公園6遊具		
公園灯更新	リース長期継続契約	リース長期継続契約継続			
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	公園遊具の更新数	70基 (令和2年度)	74基	80基	



事業実施 (Do)

事業実施 (D o)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	鈴川公園トイレの更新工事を早期に完成させるとともに、公園施設長寿命化計画に基づく遊具更新工事の着実な推進、及び公園灯のLED化への更新を計画的に進めます。			
実施方法 〔選択・記入〕	☒ すべて直接実施 ☐ 左記以外			
	☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者	
	☐ 補助金		補助先	
	☐ その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		令和3年度	令和4年度	
	有料公園施設長寿命化	鈴川公園便益施設等整備		
	一般公園施設長寿命化	片町公園フェンス改修		
	公園遊具更新	7公園9遊具		
	公園灯更新	リース長期継続契約		
実施した取組の内容	鈴川公園便益施設等の整備、片町公園フェンスの改修、公園遊具の更新			
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
	公園遊具の更新数	70基 (令和2年度)	79基	

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績			
	事業費合計 (a)		59,107	千円			千円		
	内訳	国県支出金 ①	28,000	千円		千円			
		地方債 ②	26,260	千円		千円			
		その他特財 ③	0	千円		千円			
		一般財源 (a)-①-②-③	4,847	千円	0	千円			
	国県支出金の内容		防災・安全社会資本整備交付金(都市公園等事業) 補助率:国1/2						
	その他 特財の 内容	受益者負担	☐ 有 ☒ 無		前回の改定時期				
		その他							
	人件費	正規職員	0.4	人	3,272	千円		人	千円
		その他の職員		人	0	千円		人	千円
		人件費合計 (b)	0.4	人	3,272	千円		人	千円
	トータルコスト (a)+(b)		62,379	千円		0	千円		
	単位 当たり コスト	対象数	市民		単位	単位			
		対象数	101,381		人				
総事業費 ／対象数		615		円	円				

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☒ 計画どおり (A) ☐ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	鈴川公園便益施設等整備、フェンスの改修等、計画通りに進捗しました。特に公園遊具の更新については、7公園9遊具と計画以上の進捗を図ることができました。
実施水準 〔選択・記入〕	☐ 他市より高い水準で実施 (A) ☐ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☒ 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	長寿命化対策については、市町による方針や公園ごとの検討課題があり、一律には比較できません。
有効性 〔選択・記入〕	☒ 高い (A) ☐ 普通 (B) ☐ 低い (C)	A	左記判断理由	公園施設の計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を定め、計画的に施設の維持管理・更新を図ることは、公園施設の安全確保と機能保全とともに、維持管理のコスト削減につながることから有効であると考えます。
効率性 〔選択・記入〕	☒ 効率的に実施されている (A) ☐ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	国の交付金を活用し、効率的に実施しました。

取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上継続	事業推進上の課題	引き続き、国の交付金を活用しながら、街区公園など身近な公園施設について、その公園の機能や役割などを踏まえながら、必要な長寿命化対策を着実に推進していく必要があります。
令和4年度の実行方針		市民の森ふじやま公園のトイレ改修工事を早期に完成させるとともに、公園施設長寿命化計画に基づく遊具更新事業の着実な推進を進めます。		
所管部長による総評		公園利用者の安全確保の観点からも、公園施設の更新など保全改修を着実に推進する必要があります。併せて、長寿命化計画を遂行することにより、ライフサイクルコストの削減と費用の平準化を目指し、効果的な維持管理を推進する必要があります。		